

## 坂本・阿木地区女性懇談会 会議録

開催日時	平成22年11月24日（水曜日） 10時00分 ～ 12時00分
開催場所	阿木コミュニティセンター 研修室
出席者	市民：坂本地区 13名 阿木地区 19名
	行政：大山市長、林地域振興局長、坂巻坂本コミセン所長、鷹見阿木コミセン所長 齊藤広報広聴課長、外（坂本コミセン2名、広報広聴課1名、秘書課1名 行政管理課1名、阿木コミセン2名）

### ■司会・進行者あいさつ（坂本地区 ●●●●さん）

- ・不慣れですので皆様のご協力をよろしくお願いいたします。
- ・同じく司会・進行役の阿木地区の●●●●さんに開会のことばをお願いします。

### ■開会のことば（阿木地区 ●●●●さん）

- ・市長公約の女性懇談会は6年目を迎えます。坂本地区との合同は2年目です。地域事情は両地区で違うが、その中でより良い意見交換ができれば良いとお思いますし、行政にも活かしてほしい。
- ・色々な意見を出してもらい参加して良かったと思える懇談会にしたい。

### ■市長あいさつ及び市政報告

- ・地域事情が違う両地区との懇談会です。  
（坂本は人口が増える。教室が足りない。）  
（阿木は神坂に続き高齢化率2番目。UIターン住宅を整備した。若い人に来てもらう。）
  - ・根の上高原が両地区の間であって交通の便で関わりがある。
  - ・坂本の皆さんが阿木の良さを知り、移り住んでいただけるような地域・街づくりをしていけば、全体的にバランスのとれた市になるのでは。
  - ・それぞれの地域の課題を解決しながら良い地域としてそれぞれが存在する事が市全体が良い状態になっていく。そこから県にもつながる。そんな心意気で地域・街づくりを進めている。
  - ・中山間地域は人口減少が進んでいる。伝統ある地域を形づくってきたところが、これからも小学校が複式学級でない状態で続くことがふるさとの維持にとって大事と思い、人口の減少を食い止めることに重点的に取り組んでいる。
  - ・そのためにはまず、仕事が必要。中津川市は製造業が中心だが、中山間地域では農林業が中心。農林畜産業の方々が高齢化しているので、若い人が来て食べていけるような体制を市としてもバックアップして行きたい。また、中山間地にも通えればいける範囲に製造業を振興して行きたい。  
（付知・加子母の冬場等の交通事情を考慮して付知あたりに。）
  - ・平成21年度末に光ファイバー網を全て整備したので、ソフト産業（家にいて仕事ができる）も中山間地に近いところで展開できれば、人口増に貢献できる。ソフト産業の根を育てていかなければいけない。
  - ・産業施策の次に住宅施策で、UIターン住宅を整えたので、安価に住んでもらい若い家族に来てもらいたい。そして家を建てる際には土地探し等、地元の方にも温かく協力してほしい。
  - ・そして子育て支援。この3つが阿木地区では大事なので重点的に進めている。
- その他に、教育、医療、交通弱者（高齢者と高校生）の足の確保、光ファイバーを利用した情報化が大事。

- ・交通については、コミュニティバスにプラスして互助交通（ボランティアで送り迎え）の協力者と利用者の募集をして、配車センター式で出来ないか検討している。
- ・医療については医師の確保が課題。少ない医師でも対応できるよう内科だけは初診外来を開業医にお願いし、専門的な医療が必要な方は市民病院にてしっかりと対応している。医師確保のために奨学金を出し将来研修医になった際に市民病院にきてもらえるよう対応。（7名に出資。）併せて看護師確保も行っている。名古屋大学の教授にも働きかけている。
- ・教育については、規模適正化を検討中。小学校はふるさとの象徴として各地域に必要なだが、中学校は社会性を身につけさせる事も大事になってくるので適正化の検討課題になってくる。幼児教育も大事。
- ・財政再建も行う。1100億円を950億円に減らした。返す以上に借りず、県や国の補助金を活用する。また、市支出の際も国が補助してくれる合併特例債を活用。図書館建設もこれに準じた。行政改革をして人件費の抑制も行っている。

#### ■市出席者自己紹介

坂巻坂本コミュニティセンター所長、林地域振興局長、鷹見阿木コミュニティセンター所長、齊藤広報広聴課長、坂本コミュニティセンター（千村、上田）、広報広聴課（林）、行政管理課（加藤）、秘書課（草野）、阿木コミュニティセンター（市岡、丸山）

#### ■要望等の進捗状況報告（資料配布のみ）

#### ■各地区トピックス報告（資料配布のみ）

#### ■懇談会（司会進行：阿木地区 ●●さん）

- ・具体的なテーマは絞らず、フリートーク形式。
- ・普段の生活の中で、女性の立場から思っている事、感じている事を自由に発言して下さい。

■懇談内容（司会：安藤（阿木）さん、小川（坂本）さん）

発言者	発言要旨	対応者	対応(回答)の内容
(阿木) ●●さん	<p>予防接種について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザの接種料金は一人2回接種して6,300円がかかる。恵那市は今年度から1回1,500円の負担になったと聞いている。中津川市も助成して頂きたい。</li> <li>・ヒブワクチン・肺炎球菌・子宮頸がんのワクチン接種についても高額なので助成をお願いしたい。</li> </ul>	市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予防接種の対象とする病気の種類がどのくらいの重篤度（将来の後遺症等）があるのか。国の方向性も見ながら重要度や将来に関わるものから先に行い、その後他に展開していきたい。</li> <li>・ヒブワクチンと子宮頸がんは助成する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生の麻しん、風疹の接種医療機関は市内に限られ、阿木診療所と恵那市が含まれず不便。医療機関を広げてほしい。</li> <li>・乳幼児予防接種の会場の健康福祉会館は遠方で時間がかかるので会場を分散してほしい。</li> <li>・番号札で順番取りをするやり方に、遠方の者は大変困っている。改善方法はないのか。昨年個別接種に移行するとのことでしたがその後は。</li> </ul>	市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接種医療機関や会場の話は即答出来ないので健康福祉部にて検討したい。</li> <li>・会場については、サービス時の体制や利用者数・医者の手当ての関係を勘案し議論して決めたい。</li> </ul>
(坂本) ●●さん	<p>子育て支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが増え、学童も増え5ヶ所になった。その中の青空学童はエアコンが無い暑い中で保育をしており、川遊び等をし工夫している。学校の空き教室が無いので民間施設を借り家賃も月10万円と高く運営も厳しい。</li> </ul>	市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育が大事なので、教育委員会で幼稚園、保育園を管轄するよう組織再編した。</li> <li>お年寄りも集まれる児童館として、はなのきセンターを造ったが、まだ足りないと思っている。</li> <li>学童保育についても、学校の空き教室があれば使ってもらえる。（付知では実施中）人口増の坂本では難しい面もある。</li> </ul>

発言者	発言要旨	対応者	対応(回答)の内容
<p>～続き～ (坂本) ●●さん</p>	<p>金銭面や施設面での支援をお願いしたいし、子育て支援に対する考え方を聴きたい。</p>	<p>市長</p>	<p>・民間施設を使用しているのは南・西・坂本で地域によってバラツキがある。たまたま空き教室があると無料で無いと有料というのは重点検討課題だと思っている。</p> <p>・授業用の備品等の管理を双方で取り決めをしたり、施設を整えたりして、課題を取り払い放課後を利用できるようにして解決していきたい。</p> <p>・エアコンについては、学童だけでなく、学校でも保護者から要望がある。学校のエアコン化を検討し、放課後は学童が使用という形をとれば対応できると思っている。そんなに遠い将来ではない。エアコンだけに頼らないような環境面の工夫も大切。(植物を植えたりして涼しい環境づくり等)</p> <p>まずは、家賃面でのカットを。幼児教育課の方で検討する。</p> <p>・PTAに地域のC(コミュニティ)をプラスして、はなのきセンターの様に児童館は地域参加で出来ないかと思っている。出来れば地元の集会所で出来ないか。PTCAの中で話し合いお年寄り子どもがふれあう地元ふれあい館という形がいいのでは。また、地域の絆もできる。</p>
<p>(坂本) ●●さん</p>	<p>親さんが育てるという事を真剣に考えて見えるか心配。どこかに荷物のように預けるという感覚はないか。</p> <p>家族で育てる事が基本・子育ての先輩の知恵等を伝える場が必要では。親さんへ心を伝えていくという事をどこかでやってほしい。</p>	<p>市長</p>	<p>・所得レベルが若い世代で低くなっていて、共働きが現実。人と人とのふれあいが希薄になってきている。社会のありようを考えていかなければいけない。</p> <p>3つ子の魂百までといわれるように、大事な時期、その中で未満時保育の需要が大きい。</p> <p>経験等を伝えるという事はすごく大切なことなので幼児教育課や少子化対策課にて子育て支援として進めていきたい。</p>

発言者	発言要旨	対応者	対応(回答)の内容
(阿木) ●●さん	<p>・一時預かりと未満児保育について</p> <p>専業主婦の自分でも、自分や子どもの体調不良の時に病院に行きたい時があり、上の子達も連れて行かなくてはいけない時もあった。一人では回りきらない事がある。何か困った時にふっと助けてくれる場所があると心に余裕が持てて良い。親と同居していても仕事持ちの時もありなかなか頼めない。また、働いている方も岩村や坂本や恵那に子どもを預けて仕事をしているので、やはり阿木に未満児保育と一時預かりを設置してほしい。</p>	市長	<p>・未満児保育については先ほど述べたような気持ちを持っており、要望が強い事も理解しているが、どうしていくのかという全市的な議論が必要。それだけ大きな事である。</p> <p>片方においても共働き、会社のほうでも育児休業3年を認めない形になっており、職場復帰しにくい等の面からも方向性を議論する必要がある。先ほど林さんが言われたこともあるし、ただ家庭の事情もあるのでそれをいかに両立させるか知恵を出していかなければならない。お母さんが病気になった時の事を考えても一時預かりは必要性が高いと認識している。</p>
	<p>・ファミリーサポート制度について</p> <p>今年で子どもが手を離れわくわく広場を卒業するので、これからは地域の人をサポートを行い、自分の子育て体験や想いを次の方に伝えたい。</p> <p>地域の人がすぐお願いしたいと助けを求めたときにすぐ対応できるように、また健常者が弱者を守り自分たちで助け合うために地域の中にファミリーサポートを立ち上げたい。ファミサポ阿木支部として阿木地区を拠点に立ち上げたいのですが、問題になることはどんな事がありますか。</p>	市長	<p>・ファミリーサポートは勤労者の制度。勤労者と目的も限られているが、交通弱者（高齢者や高校生）の足の確保にも広げて行きたい。交通弱者については、勤労世帯や目的も外して広げて、新ファミリーサポート事業という位置づけで枠を外して行なっていきたい。</p> <p>お互いに助けあうという事はこれから大事になってくる。財政も厳しい中で、地域でお互いに助け合う範囲で物事を進めて行かなければ。</p> <p>全体的に人と人とのつながりの部分も生まれてきて、いろんな面においても良い形だと思う。阿木においてはいきいきねっとという形で区長会を中心に進めていただいているので、ファミリーサポートもその中の一部として位置づけしていってもらって、地域全体の組織としてもらい、市としても支援していきたい。</p>

発言者	発言要旨	対応者	対応(回答)の内容
<p>～続き～ (阿木) ●●さん</p>	<p>・阿木地域のファミリーサポート会員と利用会員数、利用回数はどのくらいあるのか。</p>	<p>鷹見阿木 コミセン所長</p>	<p>・阿木地区の会員は、育児（サポート会員6名、利用会員1名、利用件数0件）、介護（サポート会員7名、利用会員42名、利用件数176件）です。 立ち上げていくと話になれば阿木コミュニティセンターとしても全面的に協力して支えていきたい。 いきいきねつの中でもわくわく広場は地域として行っていくものだという認識を区長さんも持っているので、活動に対しては阿木地域全体で支援していきたい。ファミリーサポート立ち上げについてもいきいきねつとで支援していきたい。</p>
<p>(坂本) ●●さん</p>	<p>・昔は有線で中津川市の情報が流れていた。それが廃止になり、スピーカーからも情報が流れてこない。今は携帯メールでの情報発信となっている。 恵那や蛭川からは流れてくるのに、火災・不審者・クマ等で素早く情報がほしい時にスピーカーから流れてこない。 スピーカーがあるのに流れてこない理由と緊急時の連絡方法を教えて下さい。ぜひ流してほしい。 また、流すとなった時には、近い方はうるさいと聞いたので緊急性等の状況に応じてボリュームを調整してはどうか。</p>	<p>市長</p>	<p>・旧中津川市の時に業者に設計をさせたところ当時の人口配置で140基必要とのことだった。しかし設置の予算を確保したのは70基分だった。半分だけ整備して終わってしまった。いいかげんに終わってしまった。 その後、平成の合併により旧町村の分も増え更新時期にきている。8市町村で8周波数になった。1市1周波数という事になっているので同システムでの継続維持も難しい。そこですぐ出来るものとしてメール配信を行っている。 今後もメール配信を充実させていきたいが、携帯不所持の方はどうするかという課題もある。 災害時には、モーターサイレンを活用していきたい。まずは、音だけで知らせて、何があったかは、メール・地デジ等の様々な手段を使って配信していきたい。 要援護者に対しては、両地区とも対応が進んでいるので、阿木はいきいきねつを通じて、坂本は民生委員さんを通じて援護していきたい。</p>

発言者	発言要旨	対応者	対応(回答)の内容
(阿木) ●●さん	<p>・地域事情が違う地区との懇談会も良いが、同じ事情の地区との懇談会も開いてほしい。</p> <p>・地域の人も子どもを見守ってくれる温かい良い地区なので、人口減はもったいない。</p> <p>若者移住のためにUIターン住宅を建設してもらったが、35歳まで5年以内という条件がある。晩婚化や若い人が5年でアパートを出て家を建てる事も厳しい。親との同居も現実には厳しい事も。条件の撤廃をしてもらいたい。</p> <p>・気軽に住んでもらい阿木の良さを知ってもらいたい。更にそんな形の市営住宅も建設してほしい。</p>	市長	<p>(市長総括の中で回答)</p> <p>お互い知るという事も大切なので、出来ればこの様な形でやっていきたい。</p> <p>・阿木の良さは住まなければ分からないからUIターン住宅を造った。安価で5年間という方法がどのようにつながっていているのか検証が必要。</p> <p>本来、住宅は、低所得以外の人は、それぞれでローンを活用して自前で建てるのが基本。市内全域で公共住宅を増やしていけば、住むかもしれないが続いていかない。</p> <p>サービスする側の論理で効率性だけで施策していくとおかしな事になる。最低限のサービスに留めたい。</p> <p>低所得者は公共住宅にという形なので、UIターン住宅とは方向性が違う。</p> <p>今の時点ではこのまま運用し、検証をしていきたい。</p>
(坂本) ●●さん	<p>・この懇談会に参加して、又、がんばる地域サポート事業の会合に参加して、いろんなボランティア団体があり、いろんな活動があることが分かり良かった。こういった団体同士の横のつながりがあると良いと思う。</p> <p>立ち上げや運営は大変で知恵が必要で、情報交換の場を設けて、情報の共有が出来たら、もっと地域の中になんか力が大きくなって膨らんでいくと思う。</p>	市長	<p>・ネットワーク作りや知恵の共有はその通りで取り組んでいく。</p> <p>阿木でいきいきねっとが出来たのは、地域で諸団体を束ねネットワークを作っていくという意味でできた。</p> <p>市全体として作ってほしいという面ではコミュニティ課はそのために作った。</p> <p>・やさしさはどう作っていくのか。市民の皆さんにも考えてほしい。</p> <p>誇れる街というのは、市民の皆さんと一緒に作って行くことだと思っている。</p>

発言者	発言要旨	対応者	対応(回答)の内容
<p>～続き～ (坂本) ●●さん</p>	<p>・小学校の絵本の読み聞かせを12年続けている。</p> <p>そこで多くの子どもや親や先生に出会ってきた。教育現場では一生懸命子どもに向き合っているという部分での活動をしている。今の中で少しでも自分の携わる事のできる部分があるとしたらという気持ちで活動してきた。そういう活動をする団体が多々あるのなら、それをつなげていく作業を市で行ってほしい。</p> <p>この街で子育てをして良かったと誇れる中津川市であってほしいし、なってほしい。</p> <p>・中津川市の登場するニュースは良いものがなく、悪い方で有名。</p> <p>最近では、地球や環境にやさしくという言葉が出回っているが、中津川市で子どもをやさしい環境で育てているか、やさしい人間に育てようとしているか、ということを再度検証が必要。やさしい育ちが保証確保できるようにするためにもボランティア団体の育成には力を注いでもらいたい。</p>		



発言者	発言要旨	対応者	対応(回答)の内容
～続き～ (坂本) ●●さん	<p>・坂本には3つの障害を持った子どものクラスがある。その子ども達には何かしらの不自由さを抱えている。中には自分の気持ちを伝えられない子もいる。だけど、その子の気持ちを伝えてあげられる人や友達がいる事で安心して生活でき、幸せなこと。小池議員の問題も同じ。</p> <p>市議会の中ではそれが出来ない環境にあると聞いている。不自由な子の気持ちになる事が大切なのに、生徒会のお手本の市議会がやさしくなく残念に思う。誇れる市になってほしい。</p>	市長	<p>・小池議員の件については被告という立場なのでこの場では発言は差し控えたい。</p> <p>障害については、出来ない事より、何が出来るのかという事に着目して行きたい。出来る範囲を広げる事が大切。</p> <p>ただ、出来ない事はあるので、それは社会として助けていかなければならない。</p>

#### ■市長総括

- ・活発なご意見ありがとうございました。大変有意義な時間でした。
- ・懇談会を阿木・坂本別々でという話もあったが、お互い知るという事も大切なので、出来ればこの様な形でやっていきたい。
- ・阿木の事情については、鷹見所長がいるので、いきいきねっととも絡めて所長に皆さんの意見をしっかりと聞いてもらって、所長を活用してもらいたい。懇談会は1年に1回とは言わずやっていたらと思う。
- ・行政は最初の相談の段階で断る事が多い、入り口論で断らず、断る理由を考えず、やれる方法を考える。
- ・今日は、寒い中、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございました。
- ・また、司会進行の●●さん、●●さんには大役を受けていただきありがとうございました。

#### ■閉会のことば（坂本地区 ●●さん）

- ・活発なご意見ありがとうございました。
- ・命の大切さ、命を守ってやりたい。この地域に住んで良かったと思える地域づくりを皆さん願って発言していただいたような気がしています。
- ・行政も地域の方が何を求めているかをしっかりとらえて、それに向かって取り組んでほしい。
- ・皆さんも身体に気をつけていただいて、これからもこの女性の声を取り上げていただいて、本当に住みよい楽しい中津川市にしていってほしいと思います。
- ・今日は本当にありがとうございました。